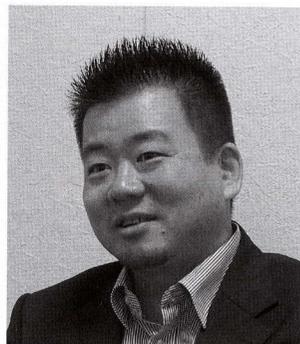


## システムインテグレート

東京都渋谷区東1-26-26  
グラフ社本社ビル3F  
TEL.03-6418-1551  
http://www.sysint.co.jp



浅野吉央社長

### 管理者のパソコン画面で二覽し

### 録画する「レックマン」デビュー

### セキュリティからデータ復旧まで

### 経営者にも社員にもメリット

すソフトを提供します」

そう話すのはIT企業、システムインテグレート株式会社（資本金2900万円）の浅野吉央社長だ。

同社は特許取得済みの独自システム「レックマン」のお試し版の提供を開始した。

「『レックマン』は社内ネットワークに接続されているパソコンの画面情報を『録る』『見る』だけのシステムです」と話す浅野社長。

パソコンの使用を監視するセキュリティシステムは従来、文字情報で記録を残すものが大半だった。

また、画面を録画するシステムも存在したが、パソコン使用者側で録画しない設定にもできる。これには強制力が無く、セキュリティとして不完全だった。

一方、「レックマン」は画面情報を必ず録画。情報漏えいを抑止するセキュリティになる。加えて、停電時やパソコンに不具合が起きた場合などに巻き戻して、データ復活のための作業や不具合の原因究明にも使用できる。

さらに、パソコンごとに、どのソフトをどのくらいの時間使用していたか表示もする。これにより、業務上インターネットの使用を必要としな

い部署の社員がインターネットで業務に関係の無い行為ばかりするなどを防げる。モラルまで向上させるのが、「レックマン」の独自性だ。

「こうした効果で、業務効率のアップも期待できます。また、残業代などを抑えることも可能になる」（浅野社長）この「レックマン」、誕生のきっかけは、浅野社長の知人の子供が遭った事件にある。

間違つて悪意のある有料インターネットサイトに接続し、届いた多額の請求。だが、いつ接続したか分からない。

### 子供に起きた事件がきっかけ 安くパートナーに提供し全国へ

「画面を強制的に録画していれば巻き戻して確認できる。これで悪徳サイトも解明できると思った」（浅野社長）

このエピソードから、企業向けにも意義だと発想が膨らみ、開発をスタートした。

今後は出張など社外で使われるノートパソコンや携帯電話にも対応し、映像データのさらなる軽量化も目指す。

「そのためには、スペシャリストが50人いる会社にしてほしいですね」（浅野社長）一度に採用する社員をあえ

#### セキュリティソフト

技術によるセキュリティは、技術によって破られがち

「これくらい問題ない」から生まれる情報漏えいを抑止（襟を正す姿勢・自制心を呼び起こす）

#### バックアップツール

停電によるバックアップ  
作業内容を「レックマン」が録画し作業内容の復活に貢献する。

フリーズや障害発生時のバックアップ

トラブル発生前の作業内容を再生しなぜ障害が発生したか原因を究明。

#### モラルコンプライアンス

社員全員のモラルの向上

- ・業務効率向上
- ・信頼感の醸成
- ・内部統制・J-SOX法・ISO27001への対応
- ・製品・サービスの向上
- ・情報管理への意識向上
- ・経費削減・業績アップ

「レックマン」とは

て数名に絞る、社歴が浅い社員でも、新入社員を精魂込めて指導する。この風潮が根付きつつあるようだ。

スペシャリストの技術により進化する「レックマン」。販売パートナーとの早期拡販が目標だ。内部統制や社内コンプライアンスが叫ばれる中、複雑化する情報漏えい防止システムや高価な資産管理ツールとの明確な差別化を狙う。

浅野社長は展望を話す。「意識改革でモラルを高める。昔ながらの考えですが、今なら新鮮では。様々な業界でその業務を一番知るお客様自身によって、『レックマン』活用のアイデアを工夫して使って頂きたいですね」（石）